

## 久留米市の環境状況について

1. 微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）について（平成 28 年度測定分）

- 性状等；大気中に浮遊する粒子状物質であって、粒子の直径が 2.5 μm（マイクロメートル：1 mm の千分の 1）（髪の毛の約 30 分の 1）以下の小さな粒子
- 発生源；石油・石炭の燃焼、自動車排ガスの他、黄砂・火山等の自然要因
- 環境基準；  
1 年平均値が 15 μg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m<sup>3</sup>以下であること
- 測定局；城南中学校局（H24.3～）、田主丸中学校局（H25.12～）、三潞中学校局（H26.1～）
- 注意喚起；久留米市では「注意喚起」は現在まで出されていない  
※ 注意喚起を行うための判断基準は、暫定指針値（1 日平均値が 70 μg/m<sup>3</sup>）を超えた場合とされている。午前中早めの時間帯（5～7 時）の判断と午後からの活動に備えた判断（5～12 時）の 1 日 2 回で注意喚起を出すかどうかを決定している。
- 測定結果（評価）；  
城南中学校局；○短期的評価（1 日平均値が 35 μg/m<sup>3</sup>以下）  
… 1 日平均値の最高値 47.5 μg/m<sup>3</sup>  
○長期的評価（1 日平均値の年間平均値の 98% 値が 15 μg/m<sup>3</sup>以下）  
… 1 日平均値の年間平均値の 98% 値が 32.5 μg/m<sup>3</sup>  
○短期的・長期的評価とも環境基準に不適合  
三潞中学校局；○短期的評価…49.0 μg/m<sup>3</sup>  
○長期的評価…33.3 μg/m<sup>3</sup> } 短期的・長期的評価とも環境基準に不適合  
田主丸中学校局；○短期的評価…50.3 μg/m<sup>3</sup>  
○長期的評価…31.4 μg/m<sup>3</sup> } 短期的・長期的評価とも環境基準に不適合

## 2. 光化学オキシダント注意報の発令について（今年度）

- 発生源；大気中の窒素酸化物や炭化水素が、太陽の紫外線を受けて化学反応を起こし発生する。
- 環境基準；1 時間値が 0.06ppm 以下であること
- 測定局；城南中学校局、えーるピア久留米局、田主丸中学校局、三潞中学校局
- 注意報発令；  
5 月 19 日 15 時…最高値 0.112ppm（田主丸中学校局）  
5 月 29 日 16 時…最高値 0.122ppm（           "           ）  
5 月 30 日 16 時…最高値 0.124ppm（           "           ）  
・福岡県より発令。久留米市では初めての発令。  
・原因は、何れも大陸からの汚染物質が偏西風に乗って流れてきたと推測。  
・防災無線により公共施設へ連絡、市ホームページ掲載、報道機関への情報提供を行ない、屋外での激しい運動をできるだけ控える等の広報・周知を実施した。

### 3. ヒアリについて

#### (経緯)

本年6月9日、兵庫県尼崎市の神戸港コンテナ保管場所から、特定外来生物で強い毒性を持つヒアリが集団で確認。中国からの貨物船に積まれたコンテナに潜んでいた。その後、東京、大阪、愛知等の港でも確認され、九州では福岡市、大分県中津市で確認された。

#### (特徴)

- ・全体的に赤茶色。腹部は濃く、黒っぽい赤色。
- ・大きさは2.5～6mm。
- ・お尻に毒針を持つ。



#### (生態)

- ・原産地は南米。亜熱帯～暖温帯に生息し、草地など比較的開けた環境を好む。
- ・土でドーム状のアリ塚を作る。
- ・日本国内では定着していない。

#### (人体への被害)

- ・刺されると、強い毒による痛みやかゆみ、発熱、じんましん、激しい動悸等の症状。
- ・アレルギー性のショックで昏睡状態に陥ることもある。

#### (久留米市の対応)

- ・通報者から、色・大きさ・巣等の特徴を聴き取る。

※ H29.8.8 現在で12件の問合せ。何れも特徴からヒアリではないと判断。

- ・場合によっては、県保健環境研究所へ問い合わせる。
- ・なお。現在まで、住宅地で確認された事例はないが、刺されたとの通報があり、懸念されている場合は、医療機関への診療を促す。